

# 一般財団法人 島根県バスケットボール協会

## —— これまでのあゆみ

昭和37年、全国高校総体での松江工業高校の優勝を契機に、バスケットボールの強豪県として歩みを始めた。協会では、競技の普及、選手育成、指導者養成などの取り組みを行ってきた。その成果の一つとして、くにびき国体での成年男子の優勝、そして平成13年に地元で開催された全国中学校総体での湖東中学校の優勝があり、島根といえばバスケットボールが盛んな県と言われるようになってきた。

特筆すべきは、本県にプロバスケットボールチーム「島根スサノオマジック」が誕生したことだと思う。会場では、子どもから年配の方まで、一丸となって応援する姿が見られ、バスケットボールの面白さを実感している。

本協会では、これを好機にバスケットボールを盛り上げるよう事業展開を実施している。



全国中学校バスケットボール大会男子決勝。湖東、青砥宗一選手がリバウンドシュートを決める

## —— 現在の状況

県協会の法人化に伴って、日本協会と連携して、今までになかった多くの事業が始まっている。各カテゴリー別の大会やリーグ戦、指導者の資格化、選手育成の育成センター事業など、協会主催の事業を幅広く展開している。また、キッズに対する普及も進めていく計画をしている。そして、大会を支える審判育成、オフィシャルの資格化に対応した取り組みも始まっている。

## —— これから

今まで学校の部活動を中心として普及発展してきたバスケットボールが大きく変わろうとしている。今後は、部活動からクラブへと移行する流れにある。普及発展には、これまで以上に協会の役割が大きくなるものと考えている。スサノオマジックとの連携も視野に、バスケットボールに関わる全ての方々と共に、「バスケで島根を元気に」を合言葉に発展を期していきたいと思う。



シュートを放つ主将の安部潤選手



悲願の優勝の瞬間、わき上がる湖東中ベンチと応援席

会場は松江市総合体育館  
いずれも平成13年8月、  
山陰中央新報